

思いやりと優しさのある、良質で安全な医療を提供いたします。

HOKUTO TIMES

社会医療法人北斗会 大洲中央病院広報誌「ホクトタイムス」

No.

47
2016/07



急性期脳梗塞の最新治療として
再開通療法(血栓回収療法)を行っています。

Zoom Up!
OozuchuoHospital



【脳血管内手術】

脳梗塞とは

脳の血管が原因で起こる病気のことを脳卒中といいます。脳卒中といえば、一昔前までは血管が破れて脳内に出血してしまう脳出血が大半を占めていましたが、近年は生活習慣の変化や糖尿病の増加などにより、血管が閉塞して脳が死んでしまう「脳梗塞」が主役を務めるようになりました。脳血管が閉塞すると、1分間で190万個の神経細胞が死んでしまうと言われており、数時間経つと完全に脳梗塞が完成され、出現していた症状が後遺症として残ることになります。

一般的に行われている脳梗塞の治療とは、脳梗塞による脳の腫れを抑えたり、新たな梗塞巣が出現したりしないよう、それ以上の進行を抑えるための予防的な治療が大半を占めています。一旦脳梗塞となり出現してしまった症状(顔面や四肢の運動麻痺、言語障害など)はリハビリテーションにて改善を期待するしかありません。

超急性期の脳梗塞治療

対照的に、我が国では2005年に承認されたアルテプラーゼ(t-PA)という薬剤がありま

すが、これは静脈注射することによって血管を閉塞させている血栓(血の塊)を溶解し、脳血流を再開通させ、脳梗塞になる前に回避させるという、より積極的な治療が行える薬剤です。早く再開通させれば脳に血流が戻り、死にかけていた神経細胞が復活し、出現していた症状も速やかに元の状態に戻る場合があります。

ただし、t-PAは発症から4時間30分以内に投与を開始しないといけない決まりがあります。それを超えてからの投与は効果が期待できないばかりか、逆に脳出血等の重大な副作用のリスクが高まるからです。そのため禁忌事項もた



脳梗塞はできるだけ早く診断し、治療を開始することが重要です。

Zoom Up!
OozuchuoHospital



【脳梗塞の初期診療】

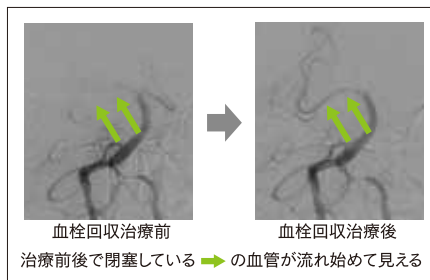
くさんあり、時間の問題以外にも使用できる条件に多くの制限があります。t-PAの治療を行うには、諸検査を行い、リスクより有効性が上回ると判断され、患者さんや御家族に同意を頂いた上で投与しないといけません。救急車などで来院されてから、診察、処置、必要な検査や禁忌事項の確認、御家族への説明などを行っているとき



鼠径部からカテーテルを挿入し脳内の血栓を回収

間程度は要することが多いため、少なくとも発症から3時間30分程度で来院されないとt-PAによる治療を受けられないという計算になります。また、発症時間が不明な場合にも安全が担保されないため使用することができません。

手足の麻痺やしびれ、言語障害などの症状が出現し、しばらく家で様子をみていたが改善しないため救急車を呼んだ、という患者さんが当院にもよく来られます。この時点ですでに手遅れで従来の治療しか行えないことが大半です。この事実を患者さん御自身や御家族が知っているかどうかで運命を左右する可能性があります。



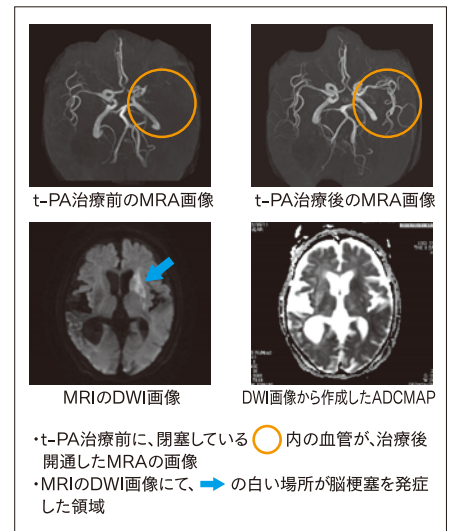
血栓回収治療前 血栓回収治療後
治療前後で閉塞している → の血管が流れ始めて見える

脳血管内治療による血栓回収療法の時代が到来!

t-PAは有効な薬ではありますが、万能な薬ではありません。投与すると必ず再開通するわけではなく、頸部の動脈や比較的太い脳の血管では再開通率が低いことが知られています。t-PAを投与しても再開通が得られない患者さんや、条件が合わずt-PAが使用できない患者さんには、ラストチャンスとして**脳血管内治療による血栓回収療法**の選択肢があります。

血栓回収療法は、鼠径部や上腕の動脈からカテーテルという細い管を入れ、脳内の血管まで進めて血栓を直接回収して再開通させる手術です。血栓回収療法にも当然時間の制限があり、t-PAと比べ若干余裕がありますが、発症から8時間以内と規定されています。近年、血栓を吸引するための専用のカテーテルやステントという金属性の網目状の筒で血栓を回収する器具などが日進月歩で発展しており、現在、脳神経外科学会で最も注目されている分野の一つです。2015年の複数の大規模研究では、t-PAによる単独治療を行った群よりも、t-PA投与に加えて血管内治療を併用した群の方が、患者さんの予後が良いことが証明されました。これらの結果を踏まえ、現在では

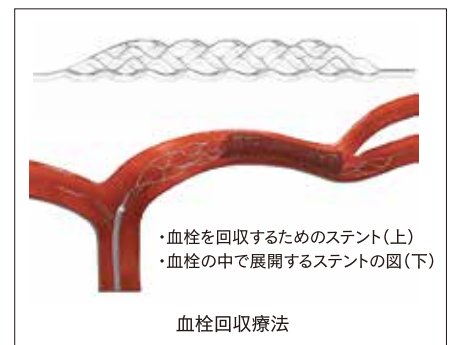
全国的にt-PAの投与を行いながら脳血管内治療を行う施設が増えてきています。



t-PA治療前のMRA画像 t-PA治療後のMRA画像
MRIのDWI画像 DWI画像から作成したADCMAP

・t-PA治療前に、閉塞している○内の血管が、治療後開通したMRAの画像
・MRIのDWI画像にて、→の白い場所が脳梗塞を発症した領域

しかしながら、脳血管内治療を行える専門医は愛媛県内にはまだ少なく、この治療を受けられる施設もかなり限られているのが現状です。当院では特別な事情がない限り、365日急性期脳梗塞の患者さんの受け入れを行っており、t-PA投与や脳血管内治療にも対応しています。



・血栓を回収するためのステント(上)
・血栓の中で展開するステントの図(下)

血栓回収療法

観光列車 伊予灘ものがたりに参加して

6月7日(火曜日)日帰りレクリエーションに参加、観光列車伊予灘ものがたりに乗りました。伊予大洲駅を10時51分に出発し、車窓から穏やかな伊予灘を眺めながら、初夏の香りと彩りが美しい特製御重の料理を頂きました。私の乗車した1号車は濃い緑を基調とした座席で、其々に赤いクッションが置かれていました。レトロ感のある落ち着いた雰囲気、アテンダントの手作りの可愛いマップもあり、おもてなしの心が伝わってきました。また、五郎駅の「狸の駅長さん」、下灘駅の「ラブラブベンチ」、上灘駅での「いぬ・ねこ駅長さん」との写真撮影や特産品販売など、地元の方からの温かい思いを感じることができました。当日は曇り空でしたが、晴れの日とは違った伊予灘や山沿いの風景、線路沿いの紫陽花等を楽しむことができ、ゆったりとした時間を過ごすことができました。伊予灘ものがたりは1日4便の運行をしているようですので、次回は下灘の夕日を眺めながらゆったりと流れる時間を過ごしてみたいと思いました。 **本館4階病棟 竹岡 照枝**



当院では、福利厚生充実の一環として、職員の親睦を図る目的で、病院旅行やバスハイク、バレーボール大会など様々な企画を立て実践しています。今回は、観光列車「伊予灘ものがたり」に乗車する日帰り旅で、伊予灘を見ながら美味しい食事を一緒に楽しむといった催しで、120名強の参加者がありとても好評でした。仕事を離れて、共に楽しい時間を過ごすことで、職種間のコミュニケーションが図られ、それが業務にも反映されています。近年、地域医療現場での人材不足は深刻であり、とすれば業務に追われ、疲弊感が強くなり殺伐とした雰囲気になりがちです。少しでも働きやすい職場にするために、福利厚生委員会の活動は重要であり、この委員会で企画したことは、病院側も全面的にバックアップしてくれています。今後も内容を充実し、職員間の絆を強め、協力体制を強化することで、ON・OFFのメリハリのある職場づくりに貢献していきます。世間では「ワーク・ライフ・バランス」という言葉をよく耳にするようになり、内閣府も企業への取り組みを推奨しています。将来的には私たちの活動が、ワーク・ライフ・バランスにつながっていくことを期待しています。また、今回の「伊予灘ものがたり」は好評でしたので、第2弾の企画を検討しています。

福利厚生委員 薬剤科 梅崎 笑子

大洲中央病院 新入職員紹介

Oozuchuo Hospital

平成28年度に、5名の新入職員が当院スタッフとして仲間入りしました。皆様方のお力になれるよう、心をこめてお世話をさせていただきます。気軽に声をかけてください。

質問事項…①出身地②趣味・特技・最近ハマっていること③今一番欲しいものは④好きな食べ物⑤目標・抱負



看護師
阿部 祐依
Abe Yui

①富山県富山市②猫と遊ぶこと・ピアノ・カフェ巡り③ノートパソコン④抹茶⑤患者様が安心して治療や療養が出来るよう、信頼される看護師を目指します。

東館3階



理学療法士
森 洋一
Mori Youichi

①愛媛県上浮穴郡久万高原町②猫と遊ぶこと③猫部屋④焼肉⑤1単位20分、丁寧にリハビリしていきたい。

リハビリテーション科



看護師
大瀧 七恵
Ootaki Nanae

①愛媛県大州市②ショッピング③服④ケーキ⑤患者様に笑顔で接し、丁寧なケアを提供していきたいです。

本館4階



清掃
瀧本 真壮
Takimoto Masato

①愛媛県喜多郡内子町大瀬北②読書・ゲーム・アニメ鑑賞③テレビ④麻婆豆腐⑤病院をきれいで清潔に保てるよう頑張ります。

事務部 総務課 施設管理



理学療法士
柏原 有希
Kashiwara Aki

①愛媛県四国中央市②音楽鑑賞③DVDプレーヤー④バス⑤笑顔を大切に、患者様に信頼される理学療法士を目指します。

リハビリテーション科

すぐそばにある絵画 院内美術館 ⑩



普賢菩薩 文殊菩薩

『釈迦十大弟子二菩薩(普賢菩薩、文殊菩薩)』
棟方志功 作

“世界のムナカタ”と ならしめた全12点の大作

棟方志功の代表作であり、二菩薩と、釈迦10人の高弟の姿を彫った『釈迦十大弟子二菩薩』。全12点からなるこの作品を6回に分けてご紹介しています。6回目となる今回は、1Fエレベーター横にある「普賢菩薩」と「文殊菩薩」です。棟方の真骨頂である白と黒の絶対的対比からなる力強い版画を、ぜひ一度ご覧ください。



棟方志功(むなかたしこう) / 1903年青森県生まれ。 / 1956年ヴェネツィア・ビエンナーレ国際版画大賞受賞

次号は田崎廣助
「桜島の朝焼け」
をご紹介します。

健康講座

■会場 大洲中央病院 2階 第一研修室

■時間 午後2:00~3:00

※都合により内容が一部変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。※場所を変更する場合があります。

【開講予定】

◎7月21日(休)

知っておきたい危険な症状と救命処置

～いざというときのために～ ……救急看護認定看護師

◎8月25日(休)

「高脂血症」といわれたら ……内科
タバコをやめたら色々得する ……呼吸療法認定士

◎9月29日(休)

<病院食試食体験デー>

栄養バランスの良いおいしいレシピ ……栄養士と栄養科

◎10月27日(休)

脳卒中予防～冬の寒さに備えましょう～ ……脳外科
認知症コラム ……看護師

参加自由
入場無料

HONDA歩行アシスト講習会

平成28年2月8日、9日に開催された「HONDA歩行アシスト講習会」に参加しました。

近年、リハビリ現場でもロボットスーツなどの症例発表数は増加しており、最先端のリハビリテーションとして注目されています。今回の講習も西日本圏域から多くの参加者があり、様々な意見交換もでき大変刺激になりました。

この歩行アシストは、脳血管障害後遺症、大腿骨頸部骨折等の整形外科疾患、肺炎などで寝たきりとなり、筋力が低下した患者さんが対象となります。歩行という移動手段を安定させることで、患者さんの日常生活能力が向上するだけでなく、筋力の再教育など機能障害面での効果、社会参加の増加等多くのメリットがあることを学びました。

この歩行アシストを脳卒中患者、運動器疾患患者に適用することで、病院内での歩行の質の向上、患者さんの入院期間の短縮等も可能ではないかと考えます。今後、積極的にリハビリ職員が「HONDA歩行アシスト」を活用できるように、今回の学びを科内で

の勉強会に活かしていきます。



当院での実施風景

リハビリテーション科
上田 拓郎

平成28年度 学校法人河原学園
合同企業セミナーに参加して

平成28年3月16日、ひめぎんホールで開催された合同企業セミナーに参加しました。会場には、医療福祉系ブースに42施設の参加があり、多くの学生が訪れていました。当院のブースでは、地域における救急医療への貢献と回復期リハビリ病棟の充実、リハビリテーション科で使用している最新の「ロボット歩行アシスト」の導入などについて詳しく説明し、当院がリハビリ部門に力を入れていることをアピールしました。

ブースへの来訪者は25名で、新人教育、勉強会、出張など熱心な質問があり、就職活動に対する真剣な姿勢を感じ取ることができました。その中には、南予出身者も3名含まれており、1人でも多くの就職希望者があることを期待しています。今後も機会があれば、当院リハビリテーション科をアピールしていきたいと思っています。



リハビリテーション科 西川 宏幸

ふれあい看護体験の開催

5月9日にふれあい看護体験を行いました。毎年多くの方にご参加いただき、今年も高校生や一般から9名の方が一緒に看護体験をされました。午前中は、各病棟で血圧測定やベッドメイキング、車椅子での移動等、患者さんとふれあいながらの看護体験をしていただきました。午後からは、施設案内と共に病院内で働く各医療職者の仕事を見学。最後に、救急認定看護師から救急蘇生法やAEDの使用方法を学ぶと共に、実際に体験していただきました。高校生の中には、看護師や作業療法士、介護士を目指している方も多く、熱心に取り組んでいただき、私たちも将来一緒に働くこともあるかと嬉しく思いました。来年も地域の皆様と交流できることを楽しみに、多くの方々の参加をお待ちしています。



ふれあい看護体験担当 上甲 かおり

外来診療医師一覧表

診療科目	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜	日曜
内科	1診	近藤 誠司	休診日	大久保啓二	大久保啓二	近藤 誠司	大久保啓二
	2診	山上 隆司		山上 隆司	井上 明子	山上 隆司	山上 隆司
	3診	井上 明子		井上 明子	近藤 誠司	大久保啓二	非常勤
	4診			清家 愛理	清家 愛理		
外科	1診	森岡 徹	休診日	森岡 徹	森岡 徹	森岡 徹	森岡 徹
	2診	満谷 臨		満谷 臨	満谷 臨	満谷 臨	満谷 臨
整形外科	1診	栗田 英明	休診日	冲永 昌弘	栗田 英明	冲永 昌弘	冲永 昌弘
	2診						栗田 英明
泌尿器科		清水 公治	休診日	清水 公治	清水 公治	清水 公治	清水 公治
脳神経外科	1診(新患)	西原 潤		西原 潤	藤原 聡	瀬野 利太 山下 大介 (隔週)	橋本 尚樹(第1・3) 戸田 茂樹(第2・4)
	2診(再診)	藤原 聡	藤原 聡	西原 潤			

受付時間 午前8時00分～午前11時30分

診療開始時間 午前9時00分～ 担当医師は緊急手術などで変更する場合がありますので、事前にお問い合わせください。(休診になる場合あり)

休診日 (7～10月) 休診日…火曜、水曜、7月18日(月)、8月11日(休)、9月19日(月)、9月22日(休)、10月10日(月)

お見舞い・面会時間 午後1時00分～午後9時00分

◎大洲・喜多地区の一週間の救急当番

- 金～日曜日…大洲中央病院
- 月曜日…市立大洲病院
- 火曜日…市立大洲病院
- 水曜日…加戸病院
- 木曜日…大洲記念病院(昼)、市立八幡浜病院(夜)

編集後記

ジメジメとした憂鬱な梅雨の時期も終わりを迎え、いよいよ夏本番となりました。

これからの季節は室内や車内においても、熱中症に気をつけていきたいですね。小さなお子さんがいる家庭では、水の事故にも要注意です。しかし、夏といえばバーベキュー・キャンプ・花火大会・海水浴など楽しいイベントが盛り沢山です。暑さに負けずに夏を満喫しましょう。

発行/社会医療法人 北斗会 大洲中央病院

編集/広報委員会

- 寺尾 光司(事務部長・理事) /
- 京河 雅史(放射線科) / 伊場 紀子(看護副部長) /
- 道休 由佳里(看護師長) /
- 福田 修治(リハビリテーション科) /
- 大西 修平(リハビリテーション科) /
- 松本 奈緒(総務課) / 平田香奈(栄養科) /
- 谷本 志津(医事課)